

6月の定例会スケジュール

5/29	水	本会議（議案の上げ）
6/4	火	本会議（一般質問）
5	水	本会議（一般質問）
6	木	本会議（一般質問）
10	月	本会議（議案質疑）
11	火	委員会
12	水	委員会
13	木	委員会
18	火	本会議（採決）

※6月定例会への請願・陳情の締め切りは5月23日（木）までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。

編 集									
委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長
森 和之	金 尾 恭士	石 部 誠	石 井 聡美	森 上 昌生	伊 藤 泰樹	新 倉 淳	平 松 久幸		

議会広報公聴特別委員会
副委員長



▲自画像

◀霊能真柱

新 高梁 人名録



ひらた あつたね
平田 篤胤
(1776年～1843年)

平田篤胤は出羽国久保田藩（現在の秋田県）大和家の四男として生まれました。20歳の時に江戸へ出奔し、当時最新の学問であった西洋医学、地理学、天文学と多岐にわたる学を深めました。25歳（1800年）の時に備前中松山藩士で山鹿流兵学者であった平田藤兵衛篤穩の養子となり、国学に関心を寄せることとなります。国学を大成し死去している本居宣長に、夢の中で入門を許されたと言ったのは有名な逸話です。

篤胤は、宣長の国学に独自の解釈を加え「真菅乃（ますげの）屋」を号して自立します。その後「気吹舎」と改め、約600人の門人を集めました。篤胤の学問的な興味はさらに広がってゆき、怪異談や幽界研究にまで及んでいます。その後、学問に専心したいと藩主板倉氏に暇乞いを願い、許されましたが、後年、暦学や易学に傾倒し幕府の暦制を批判したことで、国許（久保田藩）帰還を命じられることとなりました。

篤胤の大成した復古神道は後に尊王攘夷運動の支えとなり、さらには戦前の皇国史観にも影響を与えたと言われています。

「平田篤胤肖像」（渡辺 重石丸）早稲田大学図書館（Waseda University Library）「Hirata Atsutane」 is licensed underCC BY 2.0

あとかき

議会の大切な仕事に「賛否を決する事」がある。議員は自分の意見を述べ他議員の話に耳を傾ける。先日、議会の運営委員会でも、その場面に遭遇した。結論は「やるか、やらないか」の二種類しかないが、それぞれの議員の主張は少しずつ違う。議論の途中で議員の主張に変化が見て取れる場面もある。手を挙げるかあげないかを決めるために、しっかりと議論を深めていくことが民主主義の基本だと感じられる場面である。

お届けした「市議会だより」でそういった臨場感まで伝えることができるだろうか。
(石部 誠)

今号の表紙

高梁市立落合幼稚園

令和6年3月31日をもって閉園する高梁市立落合幼稚園お別れの式が、3月25日に行われました。また、69年間、落合地域の教育と保育を担った施設の閉園に感謝を込めて3月9日と10日には落合幼稚園お別れ見学会が行われました。閉園を惜しむ卒業生や地域の人々など多くの方が訪れていました。

お別れの式の様子

